

神奈川県立相模原高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 相模原高等学校 第2回 学校運営協議会
開催日時	令和7年8月26日
開催場所	本校会議室
出席者	河西委員、伊藤委員、平岩委員、石井委員、片野委員、奥村校長
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒心得及び服装の規定 ○ 学校設置部会について ○ 令和7年度公開研究授業及び研究協議会の開催について ○ 学校案内 ○ 相翼祭文化部門ポスター(縮刷)
議事録	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長挨拶(別紙:学校の様子について) ・SSH枠の指定校枠について大学と協議をしている。 ・学力向上進学重点校、エントリー校としてキャリア教育の充実を図っている。 ・マンドリン、吹奏楽部が全国総合文化祭へ参加。ハンドボール部・水泳部・軽音楽部など良い成績を修めた。 ・今年度グラウンド整備工事中。来年度武道場の改修が行われる。少しずつ施設も改善している。 ○ 授業参観について(1年生SS課題探究) ・レポートにPPの発表資料を夏休みの課題としてやってきていてさすがである。 ・中学では目立つ子が、県相ではスタンダードな生徒であるのだと感じた。入学生たちは、誇りをもっていていると思う。 ・生徒が取り組みやすいよう、考えられた資料である。 ・教室環境として、日が強く差し込んでいるのが、心配である。またPC、プリントを置くと机が小さいと感じた。 ○ 学力向上進学重点校について(キャリアグループ取り組み) ・「国公立100」は、キャッチコピーとしてやってきたが、昨年度82名と、のびてきている。 ・進路指導のノウハウが、溜まってきている。 ・授業が大切であると考えている。各教員のモチベーションも大切。 ・卒業生の手伝いが出来てきている。(卒業生の講和) ・生徒のニーズや保護者の意見を踏まえながら、進路指導に取り組んでいる。 ○ SSHの取り組みについて(学習グループ) ・7年目。取り組みを広げていくというよりは、深化させていくことを考えている。 ・周囲の大学に恵まれている。各分野まんべんなく色々な学科があり、各大学から協力を得ている。 ・学力向上との兼ね合いがあるが、課題探究を通じて力をつけてほしい。 質問:SSHを活用した総合型選抜の大学多くあるのか。県相の取り組みと関係はあるか。 →総合型選抜を実施している大学が多いかどうかはわからない。SSHが縛りになっているとことはない。SSH以外でも、各自の取り組みをもとにエントリーすることが可能である。 →総合型選抜は、大学と学生のミスマッチが起きていることがある。見極めて指導することが大切と考える。 →本校のSSHの取り組みとして、高大接続プログラムが研究課題であり、現在、別紙の通り取り組んでいる。 ○ 制服について ・LGBTQ対応はどうか。男女問わずに、制服でよいのではないか。 ・トレーナー・パーカーなど生徒の意見を聞き入れながら検討することが必要ではないか。 ・若い方で、TPOに合わせた服装でないこともみられる。高校ぐらいまでは、TPOを「知る」機会も必要ではないか。 ・地域住民の期待に応えながら対応をしていく必要があると考える。 ○ その他 質問:卒業生人材バンクについてどうなっているか。 →今後、表などを作成してやっていく。同窓会などの協力を得ていく。 質問:相模原駅駐輪場から県相方向で一方通行がある。警察に相談してはどうか。 →確認をする。 質問:自転車の青切符になる、ヘルメットの推奨、交通マナーをどう指導していくか。 →生徒と意見を出していく。しかしながらヘルメットの置き場所には苦慮している。